

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- ☐ 巻頭言 / 令和 2 年 7 月豪雨により被害を受けられた皆さまに… P1
☐ 新任理事・監事の紹介… P2
☐ 自動車リサイクル士認定講習会の開催日決定 / 第 1 回中古エアバック流通問題協議… P3
☐ 第 1 回未来部会の開催 / 6 月新車販売・使用済自動車発生台数… P4
☐ 鉄スクラップ最新情報… P5 ☐ 行事予定・お知らせ / 編集後記… P6

vol. **137**

令和 2 年 7 月 豪雨により被害を受けられた皆さまに

01

この度の豪雨災害により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、復旧に携わる関係者の皆さまも、新型コロナウイルス感染症の発生を受け大変な環境下ですが、予防措置を講じていただき、熱中症等にも気を付けていただき、くれぐれもご無理なさらないうお体ご自愛のうえ、ご健康に活躍されることを願っております。

当機構会員の皆さまは、幸いにも直接の被害が無いように聞いております。引き続き地域ブロック長、都道府県支部長と連携し被災地の状況を続報でお伝えいたしますとともに、今後台風シーズンを迎えますので、「会社や自宅等の備えは大丈夫か」、「非常時の備品類のチェック」など、ハザードマップなど参考に社員・家族等と備えられ、コロナ禍にも打ち勝ちましょう。



写真：熊本県人吉市の状況です。
復旧支援に当たられている方から写真提供。

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

巻頭言

熊本県南部を中心に九州全域に 4 日未明から昼まで大雨が続き、橋も流され土砂崩れも起き、高速道路も人吉から八代まで通行ができませんでした。

2 週間たった今でも道路の通行止めが続き復旧はまだ先と感じます。被災車両の問い合わせもありますが、中々作業に時間がかかっています。1 日でも早く復興されることを願っています。

昨年も台風災害もあり毎年どこかで大雨災害が続いています。地球温暖化の影響もあると思います。SDGs にも取り組みましたが私たちが出来ることを考え災害が少なくなることを心から願っています。

〈広報部会 伊地知 志郎〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004

東京都港区新橋 3 丁目 2 番 2 号

TEL: 03-3519-5181

FAX: 03-3597-5171

MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp

H P: <http://www.elv.or.jp/>



副代表理事
石井 浩道

会社名：(株)エコアール
本拠地の都道府県：栃木県
趣味：ゴルフ、ドライブ、
BBQ、旅行、
ガーデニング

てて行く事で、斜陽産業の1つと言われている業界の現状から、未来が明るく感じられる業界へと転換して行けるのではないかと考えております。

そのためには時として、当たり前として疑わず捉えてきた商慣習（市場の状況やルール）を変えるような大胆な発想も必要かもしれません。

左も右もわからない私ですが、みなさまの足を引っ張る事のないよう取組む所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

いつもお世話になっております。この度副代表を拝命しました、エコアールの石井と申します。このような大役を仰せつかるには、誠に微力でございますが、先輩各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力を仰ぎ、機構並びに会員企業様の発展の一助となるべく取組んで参る所存です。

我が業界が抱えている様々な問題を課題として捉え、1つひとつ整理しながら丁寧に取り組み解決し、道筋を立て



理事・ブロック長
(中部・北陸)

光山 広志

会社名：(有)光山商店
本拠地の都道府県：石川県
趣味：ゴルフ、旅行

皆様、お世話になります。この度、中部・北陸ブロック長を任命されました光山と申します。

若さゆえに出来ることを考え皆様とともに歩んでいきたいと思ひます。

コロナウイルスに伴った戦後最悪とも言われる恐慌の中ですがこの業界に携わる皆様の為にも微力ながらお手伝いできる様に精進致しますので宜しくお願い致します。



理事・ブロック長
(中国・四国)

中村 昌徳

会社名：クレストパーツ
(株)中村解体
本拠地の都道府県：岡山県
趣味：ゴルフ

この度、中四国ブロック長に新任しました。中村と申します。

自動車リサイクル業界は団体の結束が必要です、情報共有、勉強会と含めて皆様と共に邁進してまいります。どうぞご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



監事
石上 剛

会社名：石上車輛(株)
本拠地の都道府県：北海道
趣味：ゴルフ、囲碁

皆さん、こんにちは！

今回の役員改選で監査役に就任致しました札幌石上車輛の石上です。北海道ブロック長そして副代表と7年間、自動車リサイクル機構の方向性に携わらせていただきました。

り協との合流には多くの時間を費やして参りましたが、合流には至りませんでした、ともに業界の発展に協力し合う関係を再構築しました。

業界の変化は止まることはないのですが、業界の不利益に対して我々が業界を守る、我々の意見を受けてもらう、という重要な役割を今後も自動車リサイクル機構が担っていきます。

これからも監事として、そして北海道自動車処理協同組合の理事長として業界発展に寄与させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

2020 年度 自動車リサイクル士制度認定講習会の開催決定

03

2020 年度の自動車リサイクル士認定講習会の開催日が決定いたしました。

今回の講習会は、2021 年 3 月に有効期限を迎える有資格者を対象とした更新講習会をサテライト方式で実施いたします。有資格者の皆さまには、ダイレクトメールにて詳細をご案内いたします。申込受付期間、更新講習会の開催日等は、下表のとおりです。先着順にて定員に達しましたら申し込みを締め切りますので、早めのお申し込みをお願いいたします。多数のご参加お待ちしております。

《申込受付期間：2020 年 8 月 6 日～11 月 6 日》

《認定講習会の開催日》

会場	開催日時	対象地域受講者	申込締切
第 1 回開催	2020 年 10 月 7 日 (水)	北海道地区	9 月 7 日
第 2 回開催	2020 年 10 月 28 日 (水)	近畿、中国、四国地区	9 月 25 日
第 3 回開催	2020 年 11 月 12 日 (木)	東北地区	10 月 9 日
第 4 回開催	2020 年 11 月 27 日 (金)	沖縄地区	10 月 26 日
第 5 回開催	2020 年 12 月 15 日 (火)	中部・北陸地区	11 月 6 日
第 6 回開催	2021 年 1 月 21 日 (木)	関東地区	11 月 6 日
第 7 回開催	2021 年 2 月 16 日 (火)	九州地区	11 月 6 日

【協力団体名】

経済産業省、環境省、一般社団法人 日本自動車工業会、公益社団法人 自動車リサイクル促進センター、一般社団法人 自動車再資源化協力機構、その他関係者の皆さま

第 1 回中古エアバッグ流通問題協議

04

中古エアバッグ類の流通問題に関する取組み

中古エアバッグ類の流通問題については、自動車リサイクル法施行後からの懸案事項として、経済産業省・環境省・自動車再資源化協力機構などに問題提起をしておりましたが、解決に至っていない現状にありました。

この度、自動車リサイクル促進センター 樋口理事の仲立ちにより、直接株式会社ヤフー様と協議の場を持つことになりました。機構としては、リユース・リサイクル部品流通拡大にネットオークションの果たす役割は大きいと認識しており、また実際に我々の業界もネットオークションを利用していること、中古部品市場を健全に発展させるためには消費者の安心・安全と信頼が必須と考えていることをお伝えすることができました。

今回は、初回ということもあり機構からこれまでの取組み経緯や自リ法上のエアバッグ類の扱い等について説明を行いました。今後先方の社内での協議を経て、継続した話し合いを持つ予定です。



第1回未来部会の開催

05

2020年度J-FAR事業「解体業者とメーカーの連携強化に向けたリサイクル設計事例集製作」を機構が受託したことは既にお知らせしておりますが、本事業を未来部会が担当することになり、6月25日（木）キックオフとしてリモート会議で開催いたしました。

最初に吉岡部会長・木内副代表から説明があり、その後事務局から具体的な事業計画内容・日程及び機構の役割や部会が担う内容などを部会メンバー全員に展開されました。その後実施に向けた質疑を受け、自動車リサイクル業界の業務に直結する活動への取組みを確認いたしました。

【部会メンバー】

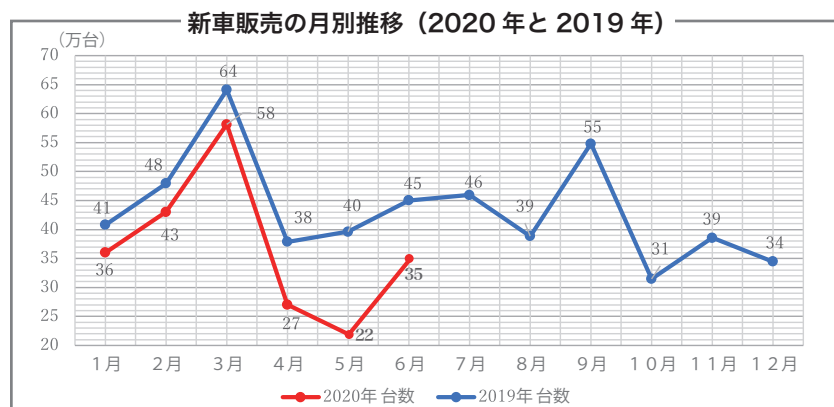
吉岡部会長、北口副部会長、小塚委員、榎本委員、大村委員



6月新車販売・使用済み自動車発生台数

06

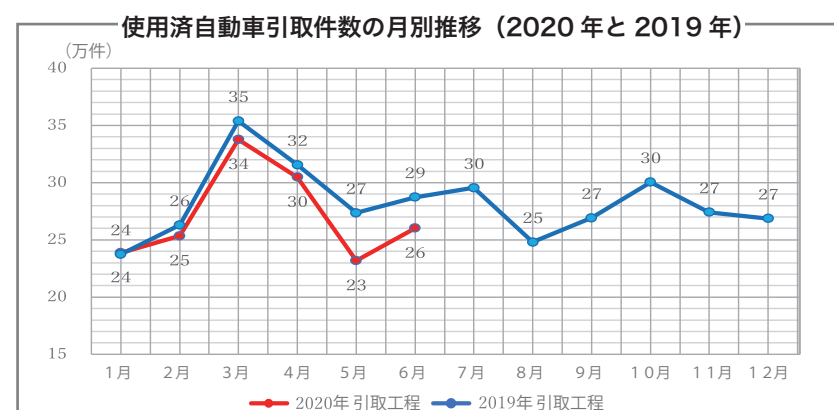
■2020年6月度 新車販売台数 347,371台 前年同月比 77.1%



過去の新車販売台数推移		
年累計	台数	前年比(%)
2020年 (6月まで)	2,207,755	86.1
2019年	5,195,134	98.5
2018年	5,271,987	100.7
2017年	5,234,095	105.3
2016年	4,970,197	98.5

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■2020年6月度 使用済み自動車引取（電子マニフェスト）実施状況

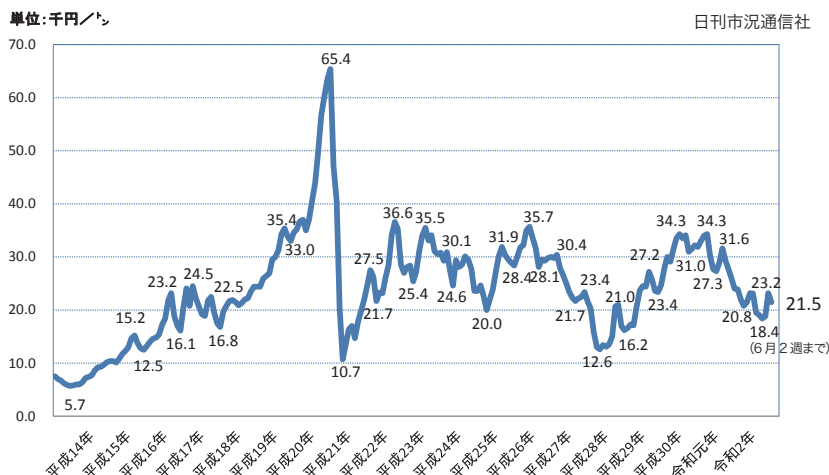


引取件数
260,224 件（前年同月比 90.6%）
フロン回収工程
235,458 件（前年同月比 91.6%）
解体工程
274,385 件（前年同月比 92.0%）

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

7月第3週(17日)の鉄スクラップ動向

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移

7月17日の国内スクラップ炉前実勢価格
(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	21,500～23,000	反発
	南関東	21,500～23,000	反発
名古屋		21,000～22,500	様子見
関西	大阪	22,500～23,500	様子見
	姫路	23,000～24,000	様子見

鉄スクラップ H2 輸出交渉、越台メーカーが調達進める

日本産鉄スクラップ輸出市場では主要国から引き合いが続いている。ただ、商談を続けるメーカーは限られているため、上値は重い状態だ。一方、日本側にも安値成約に対する警戒感がある。6月上旬まで続いた国内相場急伸の局面で、当時抱えていた輸出約残価格が割安となり、収益が悪化したためだ。価格上昇の大きな要因は入荷減にともなう品薄感だった。夏場でスクラップの発生が落ち込む時期にあたることから、新規成約を慎重に行う筋が多い。

ベトナム南部メーカー向けの直近の H2 商談価格は 1 トあたり CFR255 ドルどころとなり、成約が出ている。海上輸送費にもよるが、FOB 推定換算値は 24,000 円ほどで、韓国向け商談価格や関東浜値に比べて好値にあるようだ。「成約筋が求める H2 の品位が他メーカーに比べて高いことも価格が割高になる要因」(輸出筋)という。別のベトナム南部メーカーの打診価格は H2CFR250 ドル、FOB 推定換算値 23,500 円どころで推移している。

台湾向けの H1&H2 の成約価格は一部が CFR250 ドルを上回る水準にあり、先週から 5 ドルほど上昇した。H2FOB 換算値は 23,500～24,000 円どころで、運賃によってはこれより割高。なお、韓国向けの H2 商談価格は個別交渉で FOB22,500～23,000 円となっている。

【関東地区】 関東地区 電炉筋に 500 円どころの値上げ広がる

関東電炉の間に 7 月 17 日から鉄スクラップの購入価格を値上げする動きが広がり、関東地区の相場は反発に転じた。各社の値上げ幅は 500 円どころ。浜値が先行高となり、割安となった電炉筋の入荷が減少したことへの対応で、電炉筋による安値修正の動きとなっている。7 月 17 日時点の H2 炉前実勢価格は 21,500～22,000 円中心、高値 23,000 円見当。H2 浜値は 22,000～23,000 円中心となった。

【東海地区】 市況の上伸力乏しく模様眺めの展開

名古屋地区の鉄スクラップ市況は、大勢は様子見商状となっている。域内では需給環境が冴えないため、先行きへの不透明感が依然として拭いきれない環境にある。発生は、大手自動車メーカーの生産が今月から回復傾向にあることから、製造工場の一部で新断などの発生増加も聞かれるが、大幅な生産調整下にある工場も多く残っており、全体的には低調感が強い。7 月 17 日時点の H2 炉前実勢価格は 21,000～22,500 円中心。

【関西地区】 需要停滞も内外動向注視し様子見対応

大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見ムードにある。関東湾岸の下げ止まりを受け様子見対応へと転じつつも、月末からは順次、夏季炉休入りも控えることで、先行きへの警戒見通しは緩まってこない。また姫路地区では域外からの流入増も見込まれており、「関西の荷余り感は解消されてこない」(商社)という状況にある。7 月 17 日時点の H2 炉前実勢価格は、大阪地区が 22,500～23,500 円中心。姫路地区が 23,000～24,000 円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、7 月 17 日午前時点のもの)

行事予定

— 8 月の主な行事予定 —

- 8 月 6 日(木)
第 5 回 広報部会
※リモート会議
- 8 月 8 日(土) ~ 16 日(日)
機構本部夏季休暇
- 8 月 19 日(水)
第 48 回 自動車リサイクル合同会議

※急遽、日程の
変更・延期の場合がございます。

August

お知らせ

自動車再資源化協力機構より

「フロン類ボンベおよびエアバック類回収ケースの集荷遅延」について

令和 2 年 7 月の豪雨による河川氾濫などの影響により、一部の地域において集荷遅延が発生しております。ご不便をおかけいたしますが、集荷体制の復旧までお待ちいただけますよう、ご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

コロナ災禍も収束どころか感染拡大が懸念されている中、7月に九州地区を中心に大規模な豪雨災害が発生しました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。昨年秋に台風 19 号の被災記事を掲載したばかりと記憶にありますが、今度は梅雨時期にこのような大災害が発生しました。こうした豪雨災害は日本のみならず、中国や韓国、天候異変は世界各国でも起きています。まさしく地球環境の変化がもたらした天災といえます。

「天災は忘れた頃にやってくる」の至言を残した物理学者であり随筆家の寺田寅彦先生は「人間は、世界の気候風土が現在のまま千年でも万年でもいつまでも持続するように思っている。そうして実になぜかばかりの科学の知識をたのんで、もうすっかり大自然を征服したつもりでいる。」と嘆いておられます。この随筆は昭和七年に発表されていますので、寺田先生は、当時より人間の大自然に対する傲慢さを指摘しておられました。コロナ災禍や気候変動といった一連の災害は、いまだ唯物史観から脱却できずにいる人類への警鐘のように思えてなりません。

(広報部会 部会長 永田 則男)